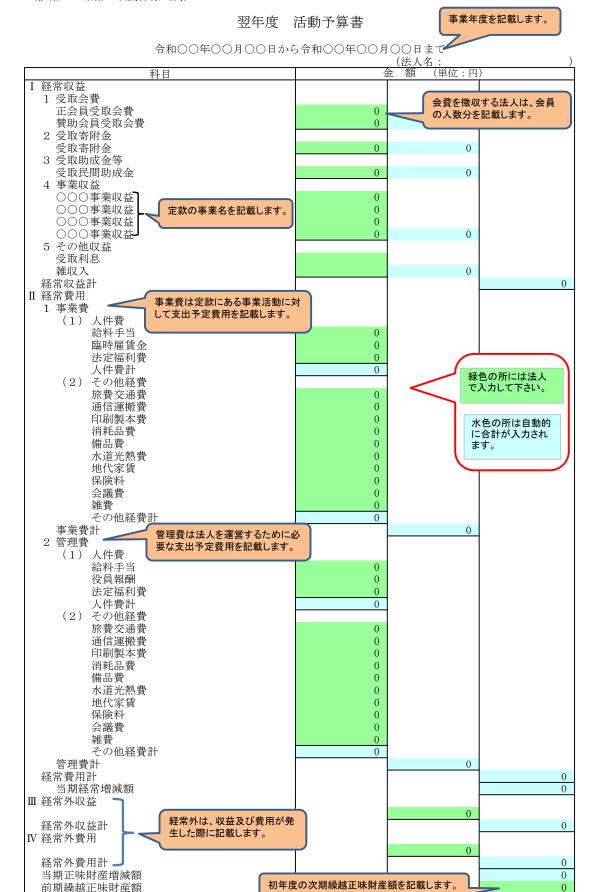
次期繰越正味財産額



0

## 活動予算書の注記(翌年度)

提出の際は削除して ください。

以下に示すものは、想定される注記を例示したものです。 該当事項がない場合は記載不要です。

法人名:

1. 重要な会計方針

活動予算書の作成は、NPO法人会計基準 (2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会) によっています。

重要な会計方針の以下の部分について は該当するものを記載してください。

重要な会計方針の、下線の部 分は必ず記載してください。

(1) 固定資産の減価償却の方法

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理 施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上しています。 また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

ボランティアによる役務の提供 ボランティアによる役務の提供は、「4.活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の 内訳」として注記しています。 (3)

(4) 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。 定款の事業名を記載します。 2. 事業費の内訳 単位:円 科目 〇〇〇事業費 〇〇〇事業費 〇〇〇事業費 〇〇〇事業費 合 計 人件費 (1) 給料手当 臨時雇賃金 0 法定福利費 人件費計その他経費 0 0 (2) 旅費交通費 0 各合計額は、活動予算書の事業 費の科目ごとに記載します。 0 通信運搬費 印刷製本費 消耗品費 0 備品費 科目は、活動予算書の事業費の科 0 水道光熱費 目と同じ並びで記載します。 0 地代家賃 0 保険料 0 会議費 雑費 その他経費計 合 計 0 0 0 0

事業計画書の事業費の支出予定額へ千円四捨五入で記載します。